



仕事に対する責任、喜び、魅力は同業者の母親から教わったと語る福島州宏さん。自分の可能性を試すために、あえて県外の日起建設を選ぶ。将来的には港湾の仕事に任されるよう、研鑽を積んでいる。福島さんが仕事にける思い、今後の目標などを伺う。

●この職業を選んだきっかけ

業界に興味を抱いたのは、母親の影響です。今でこそ、女性技術者は増えてきましたが、10年以上前は女性の施工管理は、珍しかったのではないのでしょうか。お客様の希望に沿えない悔しさ、思い通りに仕上がって喜ばれたことなど、生き生きと話す姿は、心から仕事を楽しんでいるようでした。大変と言いつつ、面白さや魅力を語る母の仕事。一体どのようなものか、それを知りたくて同じ業界に飛び込みました。

長崎出身のせいかな、海は身近な存在です。漠然とですが、海に関わる仕事をしたかった。日起建設を選んだのは、高度な技術を要する港湾の仕事が得意と聞いたので「自分にはこしかない」と思ったのを覚えています。

●職場の魅力や責務

仕事の成果が見える形として残ることが現場の魅力だと思っています。自分が携わったものが地域の役に立っている姿を見ると、仕事へのモチベーションも高まります。とくに、社会インフラに関わる仕事は、人の命も預かります。中途半端な仕事はできないと責任感も感じます。

●仕事のこだわり、ポリシー

どの業務を任されても、その理由・根拠を考えるようにしています。それは、一年目に先輩に教えてもらった言葉からきています。どのような仕事も「言われたからやる」のではなく、仕事をやる理由や根拠を理解することが大事。そこから次に必要なもの、やることが見えてきます。もちろん、経験不足もあり、考えがまとまらないときもあります。できるだけ物事を俯瞰してみるように心がけています。

現場では、職人さんたちと積極的にコミュニケーションをとるよう心がけています。自

担い手シリーズ 23

チャレンジ精神は 母親譲り 興味を仕事にする

福島 州宏 入社2年目(土木工事部)
日起建設株式会社



分とは違う視点や気づきは、新しいアイデアや、問題を知るきっかけになります。その機会を増やすため、積極的に声をかけ話しやすい雰囲気を作るよう心がけています。

●仕事上で印象的なエピソード

記憶に残っているのは、耐震改修工事の仕事です。コンクリート増打補強を行う管渠の一つを、図面の照査から完成まで行いました。初めて任せられた仕事なので、全体を見据えながら、品質確保や安全施工を念頭に置いて、段取りを組んでいたのを覚えています。上司や職人さんに何度も確認し、施工時には現場につきっきりで指示を出していました。計画通りに進まない、意図がうまく伝わらない、予想外の問題が発生するなど壁に直面することも多かった。だからこそ、完成した時の達成感は今でも忘れられません。

●今後の目標

与えられた仕事を着実にこなすのはもちろんですが、「やってみるか」と声をかけられたら率先して取り組む。自分の可能性を、どんどん広げていきたいと思っています。それには、当面の目標として施工管理技士の資格取得も課題です。資格があれば一人前というわけではありませんが、任せられる仕事の幅が増えます。将来的には、一人で現場を回していけるよう努力していきます。



福島 州宏 (ふくしま くにひろ)
長崎県出身。長崎県立大村高等学校卒業。平成31年4月日起建設(株)入社。

会社情報
日起建設(株)
496-0942 愛西市山路町野方 149-7
TEL: 0567-27-0210 FAX: 0567-27-0230
<http://www.nikki-kensetsu.co.jp/>